

王 おう

王さま おう

ひとりの王さまが国をおさめたらどうなるでしょうか。よい点、悪い点を考えて、次の空白に書いて下さい。

よい点

悪い点

ピラトに問いただされるイエスさま

イエスさまの活動をこころよく思わない律法学者や祭司たちは、イエスを捕えて、殺そうとしました。しかし、当時はローマの支配下にあつたので、イエスさまを死刑にするために、ピラトのところへ連れていきました。

イエスさまは、ピラトから問いただされても、自分からは王だと答えませんでした。王としてローマの支配を打ちやぶり、独立した国を作ることが、イエスの目的ではなかったからです。

むしろ、人びとが、こうした独立した国を建てることを夢見るよりは、真理についての神さまの教えを受け入れることを望んでいました。

つまり、神さまだけが真理を持っておられるから、この世のどんな王でも、それにまさるものはないのです。王であつても、神さまの力を認めるべきだと主張しました。

もし、イエスさまが自分を王と考えているのなら、ローマ皇帝に敵対するものとして、死刑にしなければならぬのです。

イエスさまは自分がユダヤ人の王であることを

否定しなかったのです、十字架刑で殺されました。どうして、イエスさまは、はっきりと答えなかったのでしょうか。

考えられるのは、人びとが王に期待していたことは夢であつて、そんなことばかりに氣をとられてはいけない。もっと大事なことに目をむけると言いたかったのです。

